

【1回目登壇】

こんにちは。維新の会の辻信行でございます。

第23回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。先輩、同僚議員の皆さまにおかれましては、しばらくの間、ご清聴のほど、よろしくお願いいたします。

現在の任期中、最後の一般質問ですので、これまでの質問に対する市の検討状況の確認も含めて、質問をさせていただきます。

早速ですが、質問に入らせていただきます。

まず、9月の一般質問に引き続き、町会などによって設置されている街灯について、お伺いします。9月議会における質問では、市は町会灯の全てを把握していないこと、町会灯への助成については神戸市など他都市の事例を参考に研究を進めたいと考えていること、そのために町会灯の数や設置状況などについて把握するため調査を行っていくとの答弁がありました。

地域によっては街灯の今後の維持管理に大変悩まれており、切実な地域課題となっている現状もお聞きしており、市の対応に期待していたところ、先日の臨時会において、町会灯の調査費用を含んだ補正予算の提案がありました。担当部署が重要な課題であると認識し、すみやかに取り組んでいただいたことに感謝いたします。

今回の調査にあたり、11月下旬から事前に町会などにアンケートを送付されているとのことです。

お伺いします。

アンケートを送付された具体的な団体の名称と送付数についてお聞かせください。またアンケートの主な内容についてお聞かせください。

町会灯は様々な場所に設置されており、街灯だけではなく、建物に付属しているものなど類似の電灯などもあり、アンケートを受け取った団体の反応は様々であることが予想されます。

お伺いします。

現時点でのアンケートの回収状況はどのようになっているのでしょうか。また、問い合わせ状況など、アンケートに対してどういった反響があるのか、お聞かせください。

街灯の維持管理が切実な課題となっている地域団体は、今回のアンケートの実施に引き続

き、街灯の維持管理の負担が軽減するような制度が市によって作られることを、当然期待されておられます。アンケートや現地調査により市が状況を把握するだけであれば、地域団体にとっては何のための調査であったのかといった疑問を持つことになります。

お伺いします。

ぜひ調査に引き続き、地域団体に寄り添った制度を前向きに検討していただきたいと思いますが、市の見解をお聞かせください。

次に、コロナ禍における市内産米の消費状況と中学校給食への活用の検討状況についてお伺いします。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、外食産業が大きな影響を受けている状況において、米の消費量が低下し、全国的に米余りの状況にあるといった報道を耳にします。11月には市内のファミリーレストランの閉店もあり、本市も例外ではない状況です。米を生産されている市内の農業者への影響を心配しています。

お伺いします。

今年初めからのコロナ禍において、尼崎市内産米の流通・消費状況に影響は出ていないでしょうか。令和元年に収穫されたもの、令和2年の新米について、それぞれわかる範囲でお聞かせください。

いよいよ約1年後に開始予定の中学校給食における市内産米活用の検討については、9月議会において、市内で収穫される米のうち、学校給食で使用可能な供給量や納入に係る必要な条件などについて関係者と意見交換をおこなったと答弁をいただきました。

お伺いします。

中学校給食への市内産米の活用について、その後の検討状況をお聞かせください。また、関係者との意見交換を踏まえた活用の可能性について、市の見解をお聞かせください。

次に、廃棄物処理にかかる農業者へのサポートの検討状況についてお伺いします。

これまで何度か質問をさせていただいておりますが、今年6月議会では、農業者のニーズに沿った新たな農業振興策を講じていくことは必要であると考えているとの認識を示され、サポートの手法の検討結果などは農業者に届けていくといった答弁をされています。

お伺いします。

廃棄物処理にかかる農業者のニーズについて、現時点でこういった把握をされておられますか。またそのサポートの手法の検討は何かされているのでしょうか。状況をお聞かせください。

以上で、1回目の質問を終わります。

【2回目登壇】

答弁をいただき、ありがとうございます。

次に、ひったくり防止のための対策についてお伺いします。

平成24年に兵庫県内で発生したひったくりの件数のうち、3分の1が尼崎市内であったという状況を受け、平成25年に市長が「ひったくり撲滅宣言」を行い、市民への注意喚起などの取組が行われています。様々な取組の結果、平成24年には248件であった市内のひったくりの認知件数が、平成30年には16件となっています。

ところが、今年の夏以降、市内各地でひったくりが連続発生しており、市のホームページの情報では、10月の1か月間だけでも9件もの被害が出ています。

お伺いします。

市のホームページには今年9月10月のひったくりの発生状況が掲載されていますが、今年の市内でのひったくりの発生状況はどのようになっているのでしょうか、お聞かせください。また、今年の発生状況に関して、市はどのような認識を持っているのでしょうか、お聞かせください。

平成25年以降、市内でのひったくりの認知件数は劇的に減少していますが、近隣他都市と比較するとどのような傾向にあるのか、今後の市の対策を考える上で必要な情報であると思います。

お伺いします。

平成25年以降、本市と近隣他都市のひったくり認知件数の傾向に違いはあるのでしょうか。市の認識をお聞かせください。

市内でのひったくりが以前のように多発しないよう、市民へのさらなる注意喚起など、継続した取り組みが必要です。

お伺いします。

今年の市内でのひったくりの連続発生を受け、年末年始に向け、市が重点的に取り組もうとしていることがあればお聞かせください。

次に、市内での聖火リレーの実施に向けた取組についてお伺いします。

今年開催予定であったオリンピック・パラリンピックがコロナ禍において延期となり、市内での聖火リレーについても延期となっています。世界中が新型コロナウイルスにより大変な状況ではありますが、現時点では、2021年5月24日に聖火が尼崎市を走る予定になっており、市として準備を進めていく必要があります。

実施に向け、様々な取組を検討していたことは、これまでに何度も質問をさせていただいたところですが、検討内容に変更もあるかと思しますので、改めてお伺いします。

2021年5月24日に予定されているコロナ禍における市内での聖火リレーの実施に関連して、市ではどのような取組を検討されているのでしょうか。各部門それぞれの検討状況についてお聞かせください。

最後に、コロナ禍における在宅避難を視野に入れた災害時の取組についてお伺いします。

災害時の避難所運営における感染症対策については、すでにガイドラインなどを準備しているところですが、現在のように多くの新型コロナウイルスの感染者の発生や、インフルエンザの同時流行なども考えると、避難所が密となることを防ぐとともに、避難所に行くことをためらう市民が多く出ることを考え、より積極的な避難対策が必要となります。

市はホームページにおいて、「お知り合い避難」や「在宅避難」といった新たな避難について示していますが、どれだけの市民がその備えをできているのか、市民の皆さまに備えていただくための取組はまだ不十分ではないかと思えます。

お伺いします。

「お知り合い避難」や「在宅避難」の準備について、市のホームページ以外で市民への情報提供や啓発等を行っているのでしょうか、状況をお聞かせください。

コロナ禍以前にも、ローリングストックなど個人でできる防災対策の情報提供や啓発について充実をしていくべきであると要望をさせていただいておりますが、現時点においてもそ

ういった取組が十分になされているとは思えません。

「お知り合い避難」や「在宅避難」といった新たな避難について、より積極的な情報提供や啓発を行うと同時に、ローリングストックなどの方法も合わせた必要な物資の確保についても、より積極的に呼びかけていく必要があるのではないかと思います。

お伺いします。

現在の災害時の避難対策について、十分に行えていると言えるのか、市の見解をお聞かせください。また、十分ではないのであれば、どういった課題を認識しているのか、今後どのような取組を考えているのか、お聞かせください。

最後に、あらためて市の取組に対して、要望させていただきます。

町会などによって設置されている街灯については、ぜひ調査に引き続き、地域団体に寄り添った制度を、前向きに検討していただくようお願いします。

中学校給食における市内産米の活用については、第1回目の給食での使用も含めて、継続した取り組みになるよう、引き続き検討をお願いします。

農業者への様々な支援については、農業者の声をしっかり聴き、継続して支援を続けていくようお願いします。

災害に備えた市民への情報提供については、よりわかりやすい情報が市民の元に届き、備えることができるよう、これまで以上に取り組んでいただくようお願いします。

以上で、私の質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。